

北播磨新地域ビジョンの概要と検討の進め方について

1 新地域ビジョンの概要

(1) 策定の趣旨

兵庫の目指す将来像を示す「21世紀兵庫長期ビジョン」の策定(2001年策定、2011年改訂)から20年近い時が経ち、社会が大きく変化していることから、現行ビジョンに代わる新しい将来ビジョン(全県ビジョン、地域ビジョン)を策定する。

(2) 展望年次 ※展望年次：将来を考えるために見通しておく時期

一世代後の概ね30年後の**2050年**を「**展望年次**」として検討を進める。

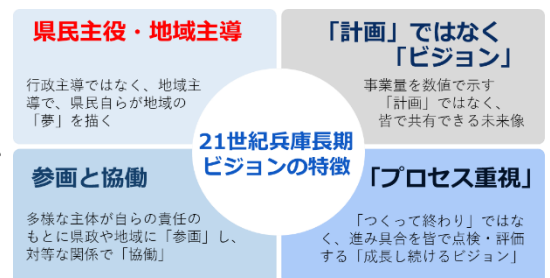
(3) 策定期期

令和4年(2022年)3月

(4) ビジョンの基本的な考え方

「計画」ではなく「ビジョン」

達成する目標を掲げ、そのために実施すべき行政施策や事業の総量を示す行政主導型の「計画」ではなく、県民、企業、団体・NPO、行政等の多様な社会の行動主体が、進むべき道を共有できる望ましい社会の姿を示す、県民だれもの「ビジョン」とする。

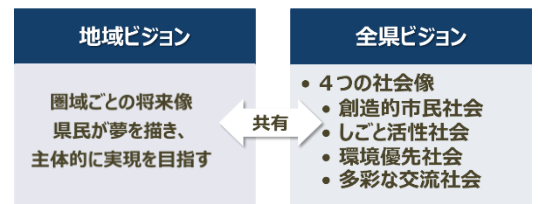


(5) 新ビジョンの構成

現行ビジョンでは、4つの社会像からなる「全県ビジョン」に加え、共通の特性を有する地域ごとに県民が主体となって地域の将来像と行動目標を示す「地域ビジョン」を策定している。

新ビジョンでも、現行ビジョン同様、全県ビジョンと地域ビジョンを策定する。

- ◆ 県全体の視点から見た「**全県ビジョン**」と、圏域ごとに住民が将来像を描いた「**地域ビジョン**」で構成
- ◆ **地域ビジョン**と**全県ビジョン**が**将来像を共有**



(6) 新地域ビジョンの性格

新全県ビジョン = 新地域ビジョンの大枠ともなる県全体の骨太な将来像を示すもの

新地域ビジョン = 共通の特性を有する地域ごとの将来像と行動目標を示すもの

《新地域ビジョンに期待される性格》

- ・人口減少等の社会変化の様相を地域の特性に合わせて分かりやすく「見える化」すること
- ・住民が共有できる「なりたい姿」を大胆に描き、中長期的な地域づくりの方向性を示すこと

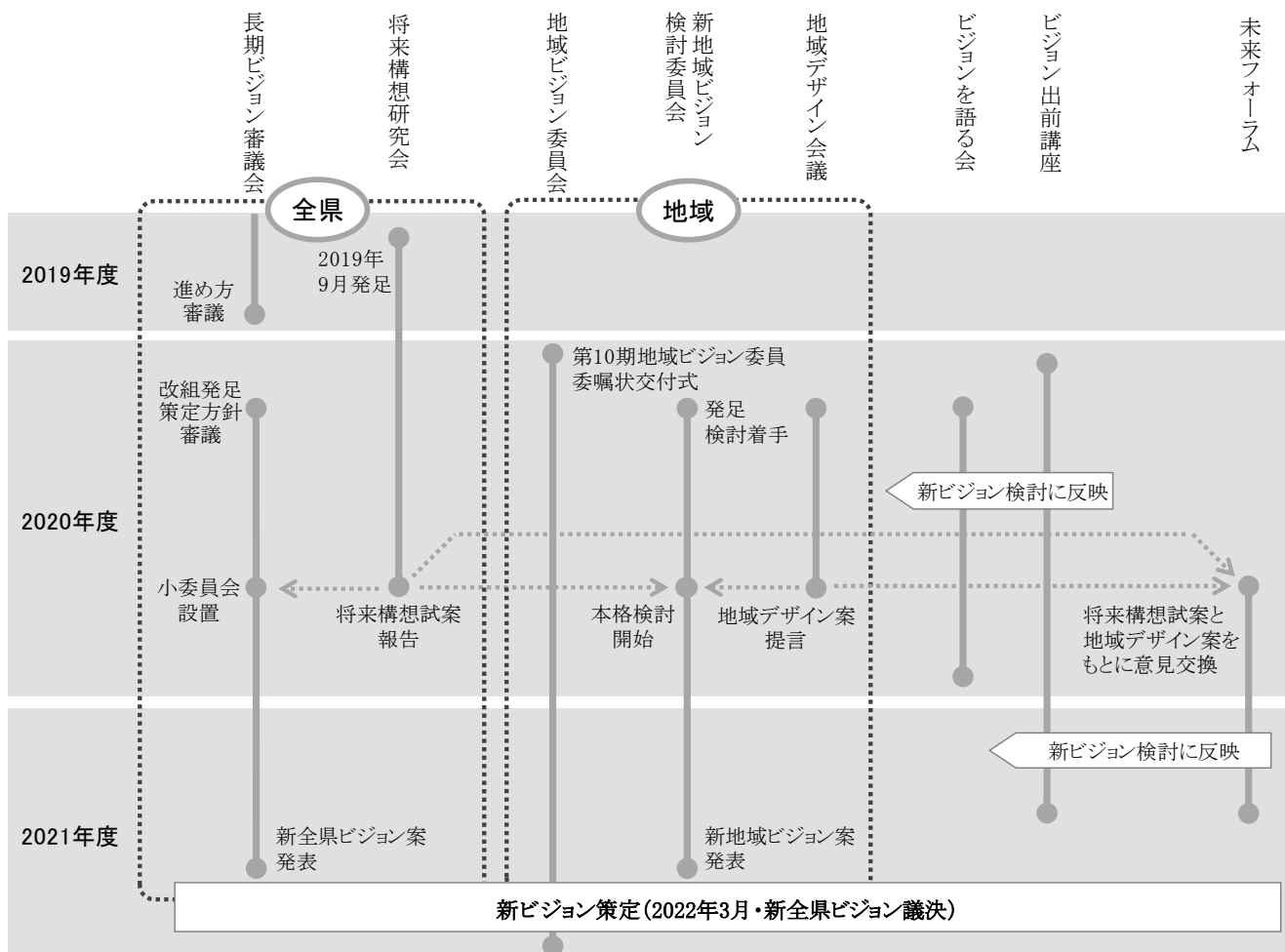
2 全体スケジュール（大まかな流れ）

（1）新全県ビジョン

- ① 学識者で構成する「将来構想研究会」で、新全県ビジョンのたたき台となる「将来構想試案」を作成する。
- ② 「将来構想試案」を受けて「長期ビジョン審議会」において新全県ビジョン案を取りまとめる。（小委員会を設置して検討）

（2）新地域ビジョン

- ① 新地域ビジョンの策定主体となる「新地域ビジョン検討委員会」を設置する
- ② 「将来構想試案」や、地域の若手住民有志がワークショップ等を行う「地域デザイン会議」で作成する将来の「地域デザイン案」等を踏まえ、「新地域ビジョン検討委員会」で議論のうえ、新地域ビジョン案を取りまとめる。



3 新地域ビジョン検討の進め方

(1) 北播磨新地域ビジョン検討委員会

①役割

地域の資源や課題の調査、新地域ビジョン案の検討・取りまとめ、未来フォーラム等の実施

②検討の進め方

ア 課題等の整理 (2020年12月頃まで)

- ・事業者、地域団体、外国人、学生等へのアンケートにより、地域課題・資源、地域のめざすべき方向性などを抽出
- ・アンケート結果を地域デザイン会議とも共有しながら、課題や地域の将来像等を整理

イ 新地域ビジョン骨子案の検討・取りまとめ (2021年6月頃まで)

- ・上記の整理と、「将来構想試案」及び地域デザイン会議作成の「地域デザイン案」を基に、新地域ビジョン骨子案を検討
- ・「未来フォーラム」等の意見交換を経て骨子案を取りまとめる

ウ 新地域ビジョン案の検討・取りまとめ (2021年12月頃まで)

エ 新地域ビジョン策定 (2022年2月頃まで)

(2) 地域デザイン会議 「北播磨の未来を描くワークショップ」

①目的

北播磨新地域ビジョン策定の検討材料とするため、将来の地域デザイン案を描く

②地域デザイン案

ア 用途

新地域ビジョン骨子案のたたき台、未来フォーラムにおいて意見交換の対象となる素材

イ 期待される性格

- ・有識者等の検討委員会とは違った県民目線の意見・アイデア
- ・生活環境が大きく変化する2050年を踏まえ、将来世代の視点から発想される、大胆で尖ったアイデア

ウ 内容

- ・北播磨地域の特徴を打ち出したもの(北播磨らしさを切り口に)
- ・住民が楽しく将来を創造し共有できるもの

(3) 未来フォーラム

①目的

新全県ビジョン骨子案と新地域ビジョンの検討状況(地域デザイン案等)を発表し県民との意見交換を行う

②実施方法

- ・時期：令和3年2月末頃
- ・場所：嬉野台生涯教育センター
- ・対象者：一般県民から幅広い世代
- ・人数：100名程度
- ・進行：グループワークにより地域の将来像を議論